

## 平成29年度の難病対策に係る事業展開について

主な事業	内容	予算額	
難病等医療費助成	国の指定難病及び都独自に対象としている疾病について、医療費の自己負担の一部を助成する。	22,691 百万円	
在宅難病患者訪問診療	医療の確保と療養環境の向上を図るため、寝たきり等により専門的な診療を受けることが困難な在宅難病患者に対して、専門医等による訪問診療を実施する。	177 百万円	
在宅難病患者一時入院事業	家族等の介護者の疾病や事故等により、一時的に介護を受けられない場合に入院できる体制を整備し、安定した療養生活の確保を図る。	127 百万円	
<b>【一部新規】 難病医療ネットワークの整備</b>		21 百万円	
	神経難病医療ネットワーク事業	神経難病患者に対し、発症から診断、治療、入院・退院、在宅療養まで、適切な医療の提供等ができるよう、医療機関等の連携を図る。	19 百万円
	難病医療ネットワーク事業	既存の神経難病医療ネットワークを再構築し、全ての難病（全 15 疾患群）に対応可能な難病医療ネットワークの体制整備を図る。	2 百万円

主な事業	内容	予算額
【新規】在宅難病患者生活環境把握事業	難病患者の就労に関する実態調査を行い、療養生活や社会参加等に関する課題を明らかにし、今後の難病患者支援の取組に活用する。	5百万円
【新規】難病患者就労等サポート事業	難病患者やその家族等が、療養生活上の悩みを気軽に相談できる場を設置し、必要に応じて就労支援機関等につなげることにより、難病患者等をサポートする。	2百万円
【一部新規】難病相談・支援センター事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難病患者等の日常生活における相談・支援等の拠点である難病・相談支援センターにおいて、相談・就労支援の充実を図り、療養生活の質の向上を支援する。</li> <li>・また、新たに多摩地域に相談場所を設置し、相談支援の充実を図る。</li> </ul>	40百万円
【新規】難病対策地域協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難病患者が安定した療養生活を送ることができるよう、保健所を中心に、地域の関係機関による難病対策地域協議会を設置し、地域における課題の把握や情報収集を行い、支援体制を協議・検討する。</li> <li>・また、東京都難病対策地域協議会を設置し、都内全体の情報収集を行い、各保健所へフィードバックするなど、取組の均てん化を図る。</li> </ul>	5百万円